

## 当院心臓カテーテル室の人材育成と課題

心臓血管領域の医療(以下インターベンションとす)は検査を始め、代表的な経皮的冠動脈インターベンション(PCI)、不整脈治療ではカテーテルアブレーション(心筋カテーテル焼灼術)・デバイス植込み治療、そしてここ数年はSHD(Structural Heart Disease)に対するインターベンションが飛躍的な進歩を遂げている。大部分が局所麻酔下で行われているが、心臓は拍動し続けている臓器であり、命に直結しているが故に合併症が起きると致命的な状態へ移行する可能性が極めて高い。カテーテル室に従事する看護師は、検査・治療に関する知識は勿論のこと手技中はモニターや意識レベル、バイタルサイン等注意深く観察を行い異常の早期発見に努め、先を見据える事が必要不可欠である。また、患者の身体的・精神的状態を把握し、他のスタッフへ必要な情報提供を行うべきである。そして、チーム医療の充実を図ると共に患者にとって最善の治療環境を提供するためのコーディネーター的役割も担っている。医療は日進月歩、チームメンバーであるコメディカルも質の維持及び向上の為にスキルアップし続けていかなければ最善の医療を提供することは出来ない。このように専門的分野での教育は、業務を行う為だけの育成が目的ではない。専門的知識の習得は勿論であるがチーム医療の要とも言えるコーディネーターを担うエキスパートの育成が必要である。段階的な教育が必要ではあるがOJTが現状であり、その時の件数や内容に左右される。よって、到達度は個々で異なり全てに対応可能となるまでに時間がかかっている現状がある。